

## 医療強化型

# サ付き、2棟目開設

シルバーウッド（千葉県浦安市）は、10月に2棟目の自社開発・運営によるサ付き高齢者向け住宅「銀木犀 市川」を開設した。同社は今後、ドミナント展開を本格化させ、千葉県を中心に20棟ほどのサ付き高齢者向け住宅（以下「サ付き住宅」）の運営に乗り出す。下河原忠道社長に話を聞いた。



シルバーウッド  
下河原忠道社長

「高齢者住宅市場へ参入した時期は、下河原 構造躯体メーカーとして、7年前から独自の法の「スチールパネ」

「銀木犀 鎌ヶ谷（53室）」

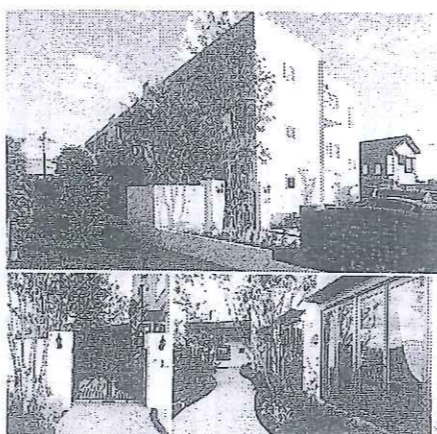
「銀木犀 市川（40室）」を開設。現在は満室で10名が入居待ちの状態です。そして、10月13日に

「鎌ヶ谷」の運営で必要を感じたのが「このケア」と「医療的

「具体的には、下河原 訪問介護、訪問看護、医師の往診による24時間の見守り体制を整えています。退院後の住まいを探している人や、自宅での介護や看取りが

「家」であることではなく「家」であることを温かく主張したつもりです。さらに、終末期ケアや看取り対応を行なうにあたり、入居者や家族、そして職員の間で

「サ付き住宅」の運営に乗り出す。下河原忠道社長に話を聞いた。



10月にオープンした医療強化型サ付き住宅「銀木犀市川」の外観。ロートアイアの門扉が、奥に広がるエントランスガーデンへと訪れる人を優しく包み込んでいる

ケア」だったので、たとえば疾病をかかえていても、病院ではなく住み慣れた地域の第2の我が家で安心して暮らせる住まいの提供を目指し、医療強化型のサ付き住宅として「市川」を開設しました。

「サ付き住宅」の運営に乗り出す。下河原忠道社長に話を聞いた。



△トイレ・洗面台完備の居室。1人部屋は18.49㎡、2人部屋は27.73㎡

ケア」を行うビルグリムルームを設けました。——コスト面は、下河原 建築費全体の約15%を占めるといわれている構造躯体費のコストダウンを図り、その削減した費用で建物自体の質感を高め、自宅で暮らし

困難な人、寝たきりや認知症の人などが、気軽に入退去できるようにしています。24時間介護士常駐と24時間医師が対応する在宅療養支援診療所及び訪問看護ステーションの連携で、看取りと終末期ケアも実施します。

「サ付き住宅」の運営に乗り出す。下河原忠道社長に話を聞いた。

「サ付き住宅」の運営に乗り出す。下河原忠道社長に話を聞いた。

「サ付き住宅」の運営に乗り出す。下河原忠道社長に話を聞いた。

△無垢のフローリングが食堂全体を温かい空気感で満たしている食堂